

桜台ニュース

令和2年度 第3号
発行日：令和2年8月
編集/発行者：桜台自治会 広報部

令和2年8月度 常務役員会報告(8月9日(日)開催)

回 覧

【開催時間】8:30~11:30 【場所】2階大ホール

【出席者】会長、副会長、地区長、(9名)

1. 会長報告

- (1) 新型コロナウイルスの感染は第2波の様相を見せてきて治まる兆しは見えていません。いろいろと制約のある中で自治会館の利用を再開し今のところ問題は起こっていませんが、油断せず対応してこの桜台から感染者を出さないようにしていきたいと思っています。
- (2) 月毎に開催予定の定期本部役員会も開けず、常務役員会を開いて対応してきました。専門部の部長は決まりましたが班長の所属が決まっておらず、このコロナ騒動のさなか専門部活動は見えてきていませんが、せめて班長の所属だけでも決めておきたいと思っています。
- (3) 今年度になって3回、宮崎会長時代3回の盗難被害がありましたが、その対策として建物の鍵の強化、破壊された防災カメラの復旧を進めてきましたが、さらに侵入者を検知してフラッシュライトやベルで警報を出すセキュリティシステムを導入し、万全の体制が出来ましたことを報告しておきます。

2. 討議事項

(1) 班長の専門部所属選考方法について

台風シーズンを迎え、緊急時の連絡網の整備強化またゴミステーションの管理や生活環境の維持など、防災部や生活環境部等の活動はこのコロナ禍でも求められています。これらの活動は必要最小限に絞って実施されなければならないという条件の下、班長の専門部所属を決めることになりました。班長に希望所属先を聞いたうえで、重複する場合は役員が代行して抽選で決めることになりました。ご了承ください。

(2) 台風被害等の早期把握と迅速な対応

昨年の台風被害に見るようにバス道路に倒木があり通行が出来なかったことがありました。早朝に役員の人から自治会に連絡があり、早急に倒木を処理するなど迅速な対応が取れましたが、台風直後に地区長、理事、班長が見回りを実施し自治会事務局に被害状況を報告し、迅速な対応が取れるようにすることを申し合わせた。

(3) 桜台自治会アンケートの実施

会員の高齢化や空家等に伴う自治会が抱える問題についてアンケートを実施し、今後の自治会活動に生かしていくことになりました。そのアンケートの形式について案が提示され討議の結果、了承されました。近日中に実施の予定です。

(4) 自治会館建物設備改修計画案について討議

- ① 改修に当たって市からの補助は工事費の50% 但し200万円が限度となっている。補助金の申請は毎年9月のため、補助金を得るためには工事は早くて2022年になる。申請は2021年9月。
- ② 工事の透明性を高めるため改修工事チームを結成する。メンバーはリーダー桐田勝夫副会長とし、荒牧克彦副会長、安藤啓治地区長、武石誠事務員、田中雅士理事(アドバイザー)の5名で構成することで、了解された。
- ③ 次のステップとして、10月中旬まで専門業者を呼んで、工事項目厳選の為に、工事の必要性、実施するなら何時、工事仕様、工事方法、概略工事金額を出してもらおうことにした。以上